

那須塩原・リンツ

国際交流員フロリン
がお届けします

夜空を見ながら・ケプラーさん（天文学者）



日本の7月・8月(旧暦)は七夕ですが、皆さんは夜空を見ながら、懐かしい思い出などが浮かんでくるでしょうか。姉妹都市リンツ市で約400年前に、同じ空を見て沈黙考した男性がいました。男性の名前はヨハネス・ケプラーです。彼がその時に考えたのは、薄幸の恋人ではなく、天体の動きでした。リンツ市に14年間も住んでいました。現在も、リンツ市にはケプラー大学やケプラーさんが住んでいた家など、多くの足跡が残っています。ケプラーさんの旧住宅では「ケプラー・サロン」の名前で物理・文化・社会などの講演が行われています。

ケプラーさんが1618年に「ケプラーの第3法則」を発表したため、2018年の400周年をきっかけに

して、ケプラーさんの大ファンの団体「ケプラーフォーラム・リンツ」が特別なプロジェクトを提案しています。個人献金だけを使って、「ケプラーリウム」(プラネタリウム、天文台と情報センター)と町中ロープウェイを作る予定です。ロープウェイのゴンドラは天体の形とし、リンツ市の観光スポットを繋げる予定で、夢のあるプロジェクトです。ちなみに、既に実現した「ケプラーフォーラム・リンツ」のプロジェクトは天体をイメージしたチョコレート、「ケプラー・プラネーテン」です。とてもおいしいです!



ロープウェイ・Keplerforum



チョコレート・Keplerforum Linz

リンツ市留学レポート：高瀬奏夢(かなめ)さん



高瀬さんと山の上から見た
リンツ市

最近のオーストリアはとても暑く昼間は30度近くまで上がりますが、朝はとても寒く夏になった今も朝はジャケットを羽織って学校に行っています。

リンツには路面電車が走っています。リンツ市民は市内の路面電車及びバスの乗り放題パスを月10€で買うことができます。本数が多くとても便利なため、ほとんどの人が利用しています。そのため日本に比べて走行車がとても少ないです。そのおかげで、排気ガスの量も少なく、自然も豊かなので空気がとてもきれいです。

オーストリアでは宗教がとても盛んです。リンツに限らずオーストリアにはたくさんの教会があり、たくさんの人が礼拝をするために訪れます。また日曜日や祝日は宗教上の関係でほとんどのお店が閉まっています。日本であまり宗教を信仰している人を見たことがなかったのでとても驚きました。

那須塩原・リンツ

あの人：滑川真希（なめかわ・まき）さん



„文化は人種と場所を選ばないグローバルな言語“

今までに行った・参加した交流活動：

私が 2004 年より在住しておりますオーストリア リンツ市で可愛い学生服に身を包んだ那須塩原市の中学生にばったり出会ってからもう 4 年になります。“何処から来たの？”と問いかけた私に満面の笑みで“那須塩原です！”と応えてくれた愛らしさに感激しリンツ市に問い合わせ、短期交換留学制度の件を知り是非何か協力できればと思ったのがきっかけです。その後、ピアニストとしての活動により培ったコンタクトを那須塩原市の皆様と文化交流のベースとして共有出来ることは何よりの喜びです。学生や視察にいらした皆様に創立 4 年目の未だ出来立てホヤホヤのリンツの州立劇場を見学して頂いたり、主人とピアノデュオコンサートを開催して頂き皆様と音楽を通して触れ合う機会に恵まれ、今後もこの交流を深めて行きたいと思います。文化はコストがかかります。しかし、文化に触れ合う機会に恵まれない人々がはびこる街は、人々がお互いに尊重しあい生活する事の大切さを知る機会に恵まれない危険に背中合わせであり、そうした世の中を再調整するには、よりコストがかかると思います。豊かな文化交流は健全な人間育成に欠かせないものだと思じて、今後も活動に参加して行きたいと思います。

その中で最も感動した経験：

リンツに滞在した学生達が浴衣で最終日にホームステイでお世話になったリンツの家族を招待し、ニクラス サルム伯爵のお城でパフォーマンスを披露しました。その姿がとても初々しく、自分の日本での中学生時代を思い出すとともにそれを支援される先生方、市の職員のみなさん、そしてリンツ市在住の日本人やオーストリア人のボランティアの方々の和やかな眼差しと共に会を催された共同作業の素晴らしさに心を動かされました。文化は共有し、受容するだけではなく、授与して御返しして初めて成り立つものです。昔のご近所さんの物々交換と同じです。

コツコツと大切に大切に育てていく事こそが文化交流の基礎であると確信した瞬間でもありました。

未来で行ってみたい行動・アイデア・意見：

日本人として生まれ、日本の平和な社会に育ち、長くヨーロッパで音楽家として活動させて頂いているという幸せを、何かの形で次の世代に繋げていければと思います。ヨーロッパでは、普段コンサート会場に行けない状態にある方々の為にボランティアコンサートなどをしたり、被災地の方に向けて募金活動を力不足ではありますが行っています。そのような行動は、ずっとこれからも継続していきたいです。お年寄りが増える時代ですので、クラシックのコンサートに足を運ぶ機会が無かったお年寄りにも気楽に行けるコンサートを開催して、クラシックは敷居の高いものじゃ無いんですよ、モーツァルトの哲学とみなさんが日々の生活から感じていらっしゃる世の中の教えの様な物には、全く隔たりなんか無いん

那須塩原・リンツ

ですよということを理解して頂きたい。少数化してくる幼児の年齢層に音楽を聴くことの豊かさ、また音楽会に行きたいよと言ってくれるようなコンサートを開催するのも現在進行形で開拓中です。文化は人種と場所を選ばないグローバルな言語であるということを経験して頂けるよう今後も精進して参りたいです。皆様とのご縁に心より感謝しております。

生き生きとした姉妹都市関係



2018年5月8日～10日：オーストリアのトライアスロン選手の事前キャンプと交流

オーストリアのトライアスリート男性2人、女性3人が那須塩原市で5月12日開催のITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会2018に向けてトレーニングを行いました！選手たちは、那須塩原市のプールなどの施設に満足し、皆さんのおもてなしで感動し、大原間小学校の子供たちとの交流も楽しかったと、感想を述べていました。横浜大会で、アロイス・

クナブルさんが16位、テレゼ・フォイアージンガーさんが20位を獲得しました。横浜で32位と不満足な結果だったリサ・ペルタラーさんは、先日イタリアのカリアリで行われたITUトライアスロンワールドカップでは1位を獲得しました。2020東京五輪に向かって頑張っています！

2018年6月23日：リンツ市の学生の表敬訪問

今年も、リンツ市からの学生が市長・議長表敬訪問で市役所を訪れました！皆さんに初めての那須塩原市の印象を聞いたところ、色々な楽しい体験の中で感動したのは、ホストファミリーの、英語が完璧に出来なくても頑張った姿でした。



2018年6月14日・16日：「平家物語 那須の与一の段」リンツ市初公演

那須塩原市リンツ市姉妹都市提携調印式の2周年（6月13日）に合わせて、グローバルカルチャー那須がリンツ市の新市役所とシュタイレック城で「平家物語 那須の与一の段」の公演を行いました。全部で約350人の来場者があり、演技に感動したそうです。パフォーマンスが終わった後、触れ合う機会があり、市民レベルの交流も行いました。



リンツ市の市長さんへの表敬訪問

イベント案内：ワールドフェスティバル 文化のワークショップ、音楽やダンスなどの異文化交流をしませんか。オーストリアのブースでクッキーを売りますので、ぜひ声をかけてください。

時間：7月14日（土）、11：00～15：00 / 場所：黒磯駅前「割烹石山」 / 入場無料

主催：那須塩原市国際交流協会 / 問い合わせ：090-1851-6510（濱中さん）

那須塩原・リンツ



作ってみましょう！ ☆ ルバーブのコンポート

ルバーブを約 400g 洗って、皮をむきます。1~2 cmの大きさに切ります。切ったルバーブと水約 500 cc、砂糖約 100 g とスパイス（桂枝 1 本又はシナモンパウダーとクローブ 4~6 個又はクローブのパウダー少々）を鍋に入れて沸騰させ、その後弱火でルバーブが柔らかくなって、煮崩れるまで煮ます。味見をして、酸っぱい時は、お好みで砂糖を入れます。シナモンとクローブを取り出せば出来上がりです。暑い日は、冷やして食べるのがおすすめです。



Q

リンツ市を流れている川はどれですか。

答えは下

A: トラウン川

B: ピンカ川

C: ライン川

D: ドナウ川

文化コーナー：リンツ風の金の帽子



リンツァー・ゴールドハウベ
©Werner100359, CC BY-SA 3.0

ドイツ語名で「リンツァー・ゴールドハウベ」と呼ばれ、リンツ市が位置しているオーバーエースターライヒ州の伝統的な、金糸で刺繍された、女性用の帽子です。特徴的な頭の後ろ側にあるお団子の形は 19 世紀に出始めました。全て手作りで、作るのに約 300 時間かかります。刺繍は金糸、金メッキのスパンコールやビーズなどを使うため、材料費は約 8 万~9 万円です！リンツァー・ゴールドハウベの伝統手芸技術は、2016 年にユネスコの無形文化遺産として登録されました！

発行：那須塩原市役所企画部秘書課都市交流係

（担当：フロレンティーネ・ロンニガー）

事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共壘社108-2

TEL: 0287-62-7324 FAX: 0286-63-1240

Eメール: f.ronniger@city.nasushiobara.lg.jp

FB: <https://www.facebook.com/nasushiobara.city.hisho/>

www.city.nasushiobara.lg.jp/03/3740.html

（バックナンバー・ドイツ語・英語編）

質問があったら、聞いてね！



ドイツ語版の答えはAとD、
ドイツ語版以外に、
ドイツ語版の答えはAとD